

# 白井市障害者計画2016-2025中間見直し版 結果概要(令和6年度)

## I 担当課等による自己評価

各事業等における実施事項に対し担当課等が自己評価を行い、施策の方向ごとにそれらの平均点を算出しました。

〔自己評価の配点〕(満点:3点)

○当初見込み以上の実績や成果があった:3点 ○概ね当初見込みどおりの実績や成果だった:2点

△当初見込んでいた実績や成果に届かなかった:1点 ×実績や成果が全くなかった:0点

基本目標	施策の方向	施 策	自己評価平均点					令和6年度の主な実施事項
			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
1 地域での自立生活への支援の推進	(1)相談体制・情報提供の充実	①相談体制の充実 ②情報提供の充実	1.73	1.93	1.80	1.80		①精神保健福祉士によるこころの健康相談と医師によるこころの健康相談の件数は、どちらも前年度より増加した。(精神保健福祉士R5:51件→R6:62件、医師R5:7件→R6:11件) ②図書館での障がいのある方への図書貸出数は、前年度を上回った。(R5:700点→R6:807点)
	(2)権利擁護体制の充実	①権利擁護施策の推進 ②当事者参画の促進 ③選挙における配慮の実施 ④障がい者虐待防止対策・障がい者差別の解消の推進	2.00	2.19	2.19	2.13		①人権相談、人権週間啓発活動、人権教室の事業を実施した。 人権相談は令和6年9月から予約制を導入したことにより、予約の相談がない月の開設を行わないこととしたため前年度の件数を下回った。(R5:11件→R6:7件) 人件週間啓発活動として、ベルクフォルテ白井店前での啓発品配布や東庁舎エントランスでのパネル掲示を実施した。 ②第6次総合計画策定に係るタウンミーティングを6回実施した。 ③令和6年10月実施の衆議院議員総選挙等及び令和7年3月実施の千葉県知事選挙において、スロープ設置、点字掲示、代理投票等の配慮を行った。 ④家庭等における暴力対策ネットワーク会議の開催(DV・高齢・障害部会・児童部会6回、代表者会議1回)及び障がい者虐待に係る相談対応等を実施した。
	(3)福祉サービスの充実と支援施設の整備	①指定障害福祉サービス等の充実 ②地域生活支援事業の充実	1.83	1.88	1.88	2.17		①指定障害福祉サービスの延べ利用件数は前年度を上回った。 (R5:6,934件→R6:7,507件) 補装具の支給件数は、前年度を上回った。(R5:83件→R6:93件) リハビリ専門職による相談件数は前年度を上回った。(R5:58件→R6:70件) ②個々の相談に応じて適切に地域生活支援事業(移動支援、意思疎通支援、日中一時支援、日常生活用具給付など)の提供を行った。
	(4)保健・医療サービスの充実	①早期発見・療育の体制の充実 ②保健サービスの充実 ③医療につなげる支援の充実	1.83	1.83	1.93	1.83		①療育に関する情報をまとめ、保護者や支援者間で共有するためのライフサポートファイルを障害福祉課の窓口と各学校で配布した。 ②各種がん健診では、受診者の集中を避け、受診しやすい体制のため予約制を継続して実施し、集団健診会場では移動介助を行った。 ③医療機関に関する情報提供では、広報・ホームページで周知するとともに、健康力レンダーの全戸配布を実施した。今後は、市公式LINEの各種マップへ掲載し、Googleマップと連携していく。
2 社会参加の支援・促進	(1)障がい児の保育・教育の充実	①早期療育・保育の充実 ②学校教育(特別支援教育)の推進 ③インクルーシブ教育システムの推進 ④放課後対策の充実	2.36	2.36	2.45	2.45		①白井市こども発達センターは、令和4年度から児童発達支援センターとして地域支援の拡充を行っている。 ②子どもの特性や適性などにあった教育が受けられるよう実施する就学相談の件数は増加した。(R5:65人→R6:84人) ③各学校で、障がい者理解、福祉教育を指導を行った。 ④学童保育所と学校、白井市こども発達センター等の関係機関と連携を強化。
	(2)就労の支援・促進	①一般就労の促進 ②福祉的就労の促進	2.11	2.11	2.14	2.14		①前年度に引き続き、就労支援員の配置、職場実習奨励金の交付、チャレンジドオフィスの運営等による支援を行った。 ②福祉作業所の利用者数は、前年度と同数の19名、一定数は確保されている。
	(3)各種活動の支援・促進	①外出、コミュニケーション支援施策の推進 ②スポーツ・文化芸術活動等の促進 ③当事者団体等の育成・支援	1.43	1.85	1.49	1.77		①福祉タクシー券の交付人数は、昨年度と同数の334人だった。 ②千葉県障害者スポーツ大会への参加人数は、増加した。(R5:1人→R6:3人) ③当事者団体等の支援では、活動場所の貸出件数が前年度より増加(R5:1,292件→R6:1,425件)した。
3 快適で人にやさしいまちづくりの推進	(1)福祉活動の促進	①啓発活動の充実 ②ボランティア活動の促進	1.88	2.20	2.37	2.35		①障がい理解に関する研修の実施では、新人研修のほか、部課長対象研修を実施した。 ②ボランティア活動の促進については、講座の参加者数・ボランティアのマッチング数が前年度より増加した。(R5:2,208人→2,345人)
	(2)バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	①外出環境の整備(福祉のまちづくり) ②住宅バリアフリーの促進	1.86	1.86	2.14	2.14		①市民プールの手洗い自動水栓化とプールサイドの段差の解消を計画。池の上小学校にエレベーター1台、スロープを3箇所設置した。 ②身体障害者住宅改造費助成の利用件数については、1件だった。(R5年度2件)
	(3)防災・防犯等対策の推進	①防災・防犯等対策の推進 ②消費生活相談の実施	1.75	1.71	1.71	1.92		①総合防災訓練において、障がい者向けの観覧スペースを設置し、訓練のアナウンス等の手話通訳を行った。 ②前年度に比べ相談件数は増加した。(R5:298件→R6:316件)
	(平 均)		1.88	1.99	2.01	2.07		

## 2 令和6年度までの自己評価のまとめ

<昨年度に比べ、自己評価が上がった項目>

1-(3)「福祉サービスの充実と支援施設の整備」…要因:リハビリ専門職相談件数の増加、日常生活用具給付件数の増加、小児慢性特定疾患児の日常生活用具の給付の増加

3-(3)「防災・防犯等対策の推進」…要因:総合防災訓練における、障がい者向けの観覧スペースの設置と、訓練のアナウンス等の手話通訳の実施

<継続して自己評価が低い項目>

1-(1)「相談体制・情報提供の充実」②情報提供の充実…障がいのある人とない人の情報格差、給付・助成・サービス等に係る情報の適時活適切な方法での発信

2-(3)「各種活動の支援・促進」③障がい者団体の育成・支援

総合的には、各事業の自己評価平均点は上がってきています。

## 3 結果の公表

・本資料及び進行管理票・集計表は、本協議会での承認後、市ホームページに掲載し公表します。